

平成 27 年度第 2 回 (第 45 回)

気象予報士試験
実技試験解答例

平成 28 年 2 月

この解答例の全部又は一部を無断で複製・転写することはできません。

一般財団法人 気象業務支援センター

実技 1

問 1

(1) [7 点]

- ① 北 ② 1000 ③ 短 ④ 狭 ⑤ 広
⑥ 100 ⑦ 1.4

(2) [11 点]

- ① 円形だが，中心の北西側で密度が粗く隙間がみられる。(25 字)
② 中心の北西側の輝度温度が高く，非対称になっている。(25 字)
③ 背の高い対流雲は，中心付近とその南東側に限られている。(27 字)

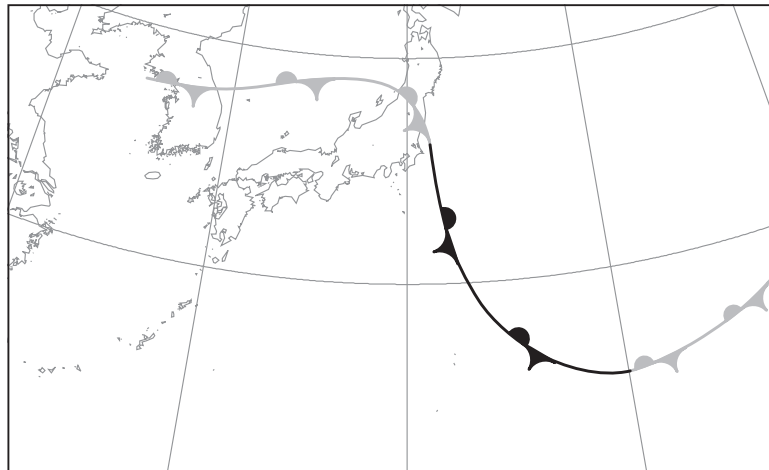
(3) [8 点]

- ① 停滞前線付近 ② リッジ場の (中の) 正渦度域
③ 相当温位集中帯の南縁で，高相当温位域の東端。(22 字)

(4) [7 点]

根拠:336K 線にほぼ沿う等相当温位線の集中帯が，ひと続きになっている。(33 字)

前線



問 2

(1) [13 点]

- ① 992 ② 784 ③ 南 ④ 南東 ⑤ 0
⑥ 西 (南西) ⑦ 東 ⑧ 西 ⑨ 北 ⑩ 357

☆：中心の南側から北東側にかけて帯状に分布 (19 字)

(2) [8 点]

- ① 500hPa と 850hPa で，中心部に暖気核が残っている。(29 字)
② a 渦度極大点 b 気温極大点 c 循環中心 d 対称性
(a と b は順不同)

(3) [3 点]

要因：湿潤暖気の収束

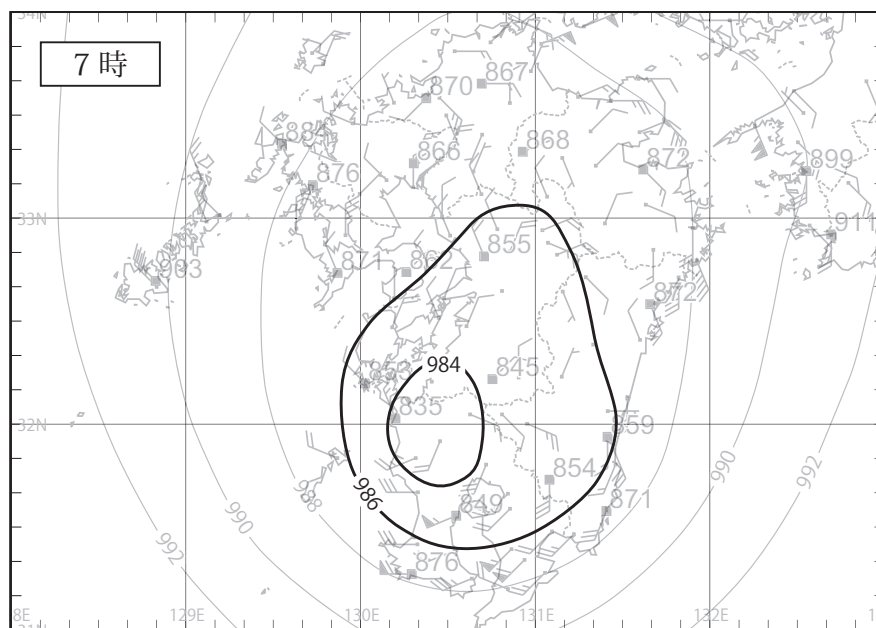
相当温位：345K

(4) [12 点]

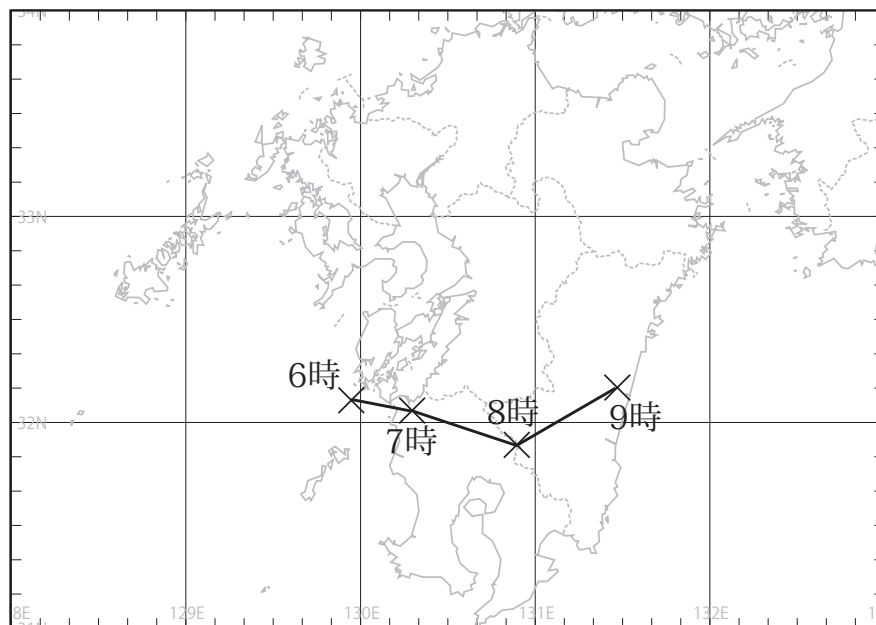
- ① 41 ② 133 ③ 寒冷低気圧 ④ 南東 ⑤ 西
⑥ 336 ⑦ 暖気核 ⑧ 東 ⑨ 乾燥 ⑩ 閉塞
⑪ 138 ⑫ 南南西

問3

(1) [4点]



(2) [4点]



(3) [4点]

移動距離：80 海里 速さ：25 ノット

(4) [14点]

- ① 時刻：1 時 50 分 風速：22m/s 風向：南
瞬間風速の平均風速に対する比：2.5(2.4)
- ② 時刻：6 時 40 分
風の変化：風向が南より（南南西）から北西（北北西，西北西）へと大きく変化し，風速が最も弱くなった。(30字)

(5) [5点]

- ① 台風は最接近後，中心気圧が浅くなりながら遠ざかったため。(28字)
- ② 台風は最接近後，加速して進んだため。(18字)

(3) [8点]

① 低気圧の通過位置：南側

根拠：風向が北東から反時計回りに北西に変化したため。(23字)

② 雨の降り出し：20日15時過ぎ

最大3時間降水量の出現日時：20日21時

最大3時間降水量：50mm

問4

(1) [10点]

① 温度移流の種類：暖気移流

根拠：風向が下層から上層に向かって時計回りに変化しているため。(28字)

② 逆転層の上端の高度：690(700)hPa 前線の種類：温暖前線

③ 温暖前線の前面

(2) [8点]

① 寒気移流

② 逆転層の下端の高度：920(910)hPa

成因：寒冷前線が通過し、前線面より低い層に寒気が流入したため。(28字)

(3) [2点]

500hPa

(4) [2点]

高←ア, ウ, イ→低

(5) [2点]

潮岬：-50°C 松江：-10°C

(6) [2点]

潮岬：ア 松江：ウ 名瀬：イ

問5

(1) [4点]

時刻：19時 降下量：1.9°C

(2) [7点]

前線の種類：寒冷前線 通過時刻：18時

理由：風向が南から西北西に急変し、気温の降下が始まったため。(27字)

(3) [8点]

① 298(299)K ② 339(340)K ③ 0°C

(4) [6点]

大気現象：落雷, 降ひょう, 突風, 短時間強雨 の中から三つ

根拠：SSIが小さく大気の状態が不安定で積乱雲が発達しやすいため。(30字)

平成 27 年度第 2 回 (第 45 回)

気象予報士試験

学科試験解答

予報業務に関する一般知識

- 問 1 ②
- 問 2 ②
- 問 3 ④
- 問 4 ①
- 問 5 ③
- 問 6 ③
- 問 7 ④
- 問 8 ⑤
- 問 9 ④
- 問 10 ④
- 問 11 ②
- 問 12 ③
- 問 13 ②
- 問 14 ⑤
- 問 15 ①

予報業務に関する専門知識

- 問 1 ②
- 問 2 ②
- 問 3 ①
- 問 4 ④
- 問 5 ⑤
- 問 6 ④
- 問 7 ①
- 問 8 ②
- 問 9 ③
- 問 10 ④
- 問 11 ①
- 問 12 ②
- 問 13 ⑤
- 問 14 ①
- 問 15 ③